

石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=112 円:



2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

- 四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなの為になるかどうかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏「研修と活性化」

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

国際ロータリー第2580地区
今週のクラブ紹介

東京神田ロータリークラブ

例会日時: 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場: ホテルグランドパレス(東京・九段下)

～ 誕生 1964年4月 ～



歴史

東京神田ロータリークラブは、千代田区のうち、旧神田区域のロータリーとして、1964年4月2日創立されました。親クラブは、東京ロータリークラブ。チャーターメンバーは、26名。初代会長は、福島秀策氏。東京都千代田区の下町を主として、その隣接地域を活動の区域として、地域社会に奉仕などを通し関わっています。



運営

上記の歴史のように、ロータリーの中では、中堅のクラブで、地域社会から大いに認められております。和気あいあいとしたなごやかな雰囲気は、当クラブ独特のものであります。神田という場所柄、出版や書籍、電器関係、老舗等の関係者が多いことも一つの特徴です。例会場は、九段下のホテルグランドパレスで、都心でありながら、環境の良さも見逃せません。



我那覇宗広氏 4日 大濱達也氏 6日 宮良薫氏 12日 小底厚子氏 14日 上原晃子氏 23日 大底英一郎氏 25日 今西敦之氏 28日

<11月の予定> 7日 移動例会 14日 米山奨学生卓話訪問 21日 補助金プロジェクト 28日 ガバナー公式訪問

会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島 (0980) 83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

《第14回 10月24日(水)例会報告 (通算2808回)》

<司会進行> 東上里 和広

ロータリーソング:手に手つないで 四のテスト
ソングリーダー :宮城 早人
メイクアップ:我那覇宗善 吉田 貴紀 大瀨 達也
漢那 憲隆 佐久本 達 大浜 勇人

<出席報告>

会 員 総 数:44名 出席義務会員:43名
出 席 数 : 24 名
欠 席 数:19名
出 席 率:55.81%
通算出席率:68.26%(6日)



本日のニコニコ

*遠藤正夫氏:星空ツアー楽しみにしています。今日の卓話ありがとうございました。
*宮良榮子氏:東京でのデンサー節大会に感謝!!

◆BOX ¥3,000
(累計¥56,000)
◆コイン ¥2,110
(累計¥31,579)
合 計¥87,579

会長挨拶:遠藤正夫

休会続きで皆さんお久しぶりでございます。今日は幹事が休みですのでご報告いたします。先週行われましたIM大会の実行委員会からお礼状が届いております。11/3 石垣島まつり親善・友好都市等交流会のご案内、来年6月の国際大会ハンブルグのパンフレット、ご案内が来ております。また、当クラブ会員の沖縄県議会議員大浜一郎氏の就任激励会を10/28に開催されるそうです。参加される方は事務局までお願いします。本日は来週の移動例会「星空欲ツアー」の上野さんに来て頂いております。短い時間ではありますがよろしく願いいたします。

◆◆◆会員からの報告◆◆◆

◆仁開 一夫 氏

今月の18日~22日まで前木さん、大浜勇人さん、大瀨達也さんの4名でミャンマーに行ってきた。東江戸川の嶋村さんがロータリー財団を使って、学校が完成したので見に生きたましょ!との事で、ロータリー財団がどのように使われているのか見て来ました。ヤンゴンからバスで片道5時間位のところで、途中までは舗装されているが、最後の2時間くらいはもの凄い道路でした。集落まではバスでたどり着けないのでバスから降りて徒歩15分位の所で、小さな子達はみんな裸足で電気、水道も無い所でした。小さい子から小学生まで、集落の子供だけではなく隣村から1、2時間かけて歩いて来る子も含めて60名位いました。開校式をして文房具などをあげて来ましたが、どういう形で東江戸川はこういう事しているかと言うと、お金をそのまま渡してしまうと、どういう風に使われるか分からないという事で、若い青年の団体フォーエバーというボランティア団体があるので、そこにロータリー財団のお金を少し入れてボランティア団体が半分出して小学校の簡単な施設が出来るという事です。ミャンマーは施設が無いと国は援助しないという所で、

ボランティア団体の他に米山奨学の卒業生、日本で勉強してミャンマーに帰って、マネージャークラスになっている人達も巻き込んで一緒にボランティア団体活動をしています。米山の卒業生が4名来ていましたが、皆さん日経企業のマネージャークラスになっていました。そういうのも含めてロータリー財団を活用しています。フォーエバーと米山奨学生にバナーをあげてきました。これまでミャンマーでは2校造ったので次はチェンマイの少数民族首長族達がいる所へ行って簡単な学校施設を造っておきたいとの事で、運営はどうするかという、タイの米山卒業生とフォーエバーのボランティア団体と一緒にそこで任せるという形です。それからもう一つ、うちの週報(9/12)を見て誤りがあったので、上野RCから指摘がありました。上野RCは来年35周年です。1月28日(月)に浅草ビューホテルでセレモニーをやります。その前日27日(日)初場所の千秋楽に砂かぶりの席と柙席を取ってありますので見ませんかという事です。ご希望の方は事務局までお願いします。

◆我那覇 宗広 氏

今日は上野さんに卓話をして頂きますが、来週の移動例会は現在、ご家族含めて20名の参加を頂いております。応募された方は名簿を受付に置いておきますので、人数、バスの乗降場所等の確認お願いいたします。まだ応募されていない方で卓話を聞いて行きたいと思われた方は事務局の方に申し込みをお願いいたします。

ゲスト卓話:上野貴弘氏 星空ツアーリズム(株)代表取締役



皆さんこんにちは。本日はお招き頂きまして誠にありがとうございます。星空ツーリズム(株)の上野貴弘と申します。よろしく願いいたします。2013年に東京から石垣島へ移住をしまして星空欲ツアーを毎晩行っております。本日のテーマでもあります「星空保護区」の取組みもさせて頂いております。本日はこの「星空保護区」についてお話しをさせて頂きたいと思っております。2018年3月30日に石垣市と竹富町にまたがる西表石垣国立公園が日本初の「星空保護区」に認定されました。これはアジアでは2番目、世界では96番目の星空保護区となります。ちなみにアジアの1番目は韓国です。星空保護区とは何かというと、世界中の天文学者達が中心になって作っていますが、国際機関であります国際ダークスカイ協会、こちらが世界中の光害のない美しい星空環境を有している地域を星空保護区として認定している制度でございます。認定には当然暗い夜空が保たれていて星が綺麗なことも当然ですが、その地域が屋外照明とか街灯に関する厳格な基準を守っている。そして地域における光害に関する教育啓発活動をしっかり行っている。こういった事も求められます。そしてこの「星空保護区」には6つのカテゴリーがございます、ダークスカイ・パーク、ダークスカイ・コミュニティなどございますが、今回この石垣市・竹富町に関しましては西表石垣国立公園ダークスカイ・パークの方に認定を受けました。そして夜空の暗さによってゴールドランク、シルバーランク、ブロンズランクと3つのランクがございます。今回シルバーランクに認定を受けました。西表石垣国立公園の区域ですが、竹富町は全域です。そして石垣島は平久保半島、野底、川平、崎枝、名蔵のアンパル、白保の方も少し入ります。この西表石垣国立公園の陸域の部分が今回日本で初めて星空保護区に認定されました。認定された最大のポイントは国立公園の夜空の暗さが世界最高レベルである事が分かりました。今回は屋外照明の一部が基準を満たしていなかったため、5年以内に改善をします。という条件付きで暫定認定とはなりましたが、この夜空の暗さに関しては専門家が調査に入り、世界トップレベルである事が分かりました。これは他の世界の星空保護区のゴールドランクにほぼ匹敵するぐらい、非常に暗い夜空、貴重な星空環境を有しているという事が分かりました。玉取崎の夜空は真っ暗で漆黒の闇にくっきりと天の川が浮かんでおります。そして夜空の暗さの他に八重山諸島が評価されたポイントがいくつかございます。一つ目は、星空の天文に関わる十分な資源を有している地域か。特に国立天文台などの施設、星空天文に関する地域独自の歴史や文化も有している、この点が非常に評価されました。二つ目が光害に関する地域の皆さんの理解度、啓発活動も盛んに行われて

いるという所も評価されました。15年以上続く南の島の星祭りのライトダウンイベントだったり、市民向けの星空を守ろうという啓発パンフレットが発行されたりと地域の活動も評価されました。そして星空以外にも守るべき豊かな自然環境を有しています。西表ヤマネコ、八重山ボタル、サガリバナなど地域固有の夜の生態系を有している事も評価されています。そして以外と大事なポイントが都市部からのアクセスが良い。そして人口が多い。これは何を意味しているかと言うと人が沢山来て、人が沢山住んでいる地域なのに暗い夜空を保っているところが凄いです。世界で人が少ない所、僻地は暗いのは当たり前です。これだけ人が多く済んでいる中で夜の自然環境を守られている点が非常に評価受けました。世界に100近くの星空保護区がございますが、石垣、竹富町の5万人位の人口規模を有する星空保護区は世界でもトップレベルの多さです。光害とは。石垣、竹富町の皆さんには光害に関してご存じの方も多いと思いますが、割と一般的にはまだまだあまり認知されていない新しい環境問題なのかと思っております。宇宙から見た地球の衛星写真ですが、ヨーロッパ、アメリカ、中国の東海岸、インド、日本列島もくっきりと浮かび上がるぐらい光に溢れているのが分かります。これらは全て上空に漏れている光、つまり無駄な光なんです。地球がとてつもないエネルギーを使っているのが非常によく分かるかと思っております。宇宙飛行士の若田さんが国際宇宙ステーションから見た地球についてこんな感想を言っています。「昼の地球の表情は大自然の力強さが印象的です。反対に夜の地球の光源は非常に目を引きます。それも科学技術を象徴するような灯り。地球上での人類によるエネルギー浪費がいかに膨大であるかを物語光であります。人間がいかに自然環境に影響を与えているかを印象づける光景です」と述べております。46億年分の130年、分母が46億年、分子が130年です。この数字は何を意味しているか。分母の46億年というのは、地球が誕生して46億年、分子の130年は地球上に街灯が灯ってからたったの130年です。日本で初めて電灯が点いたのが明治11年の銀座です。それから僅か130年。夜に街灯が灯ってからほんとに最近です。僅か130年で人口の光は瞬間に地球に広がって夜が夜では無くなった。自然の夜の暗さが失われてしまいました。今では過剰な人口の光によって世界の三分の一以上、日本では人口の七割が天の川を見る事が出来ない環境に暮らしているという風に言われております。星空が見られなくなるだけでは無くて、地球がかつて無い問題に直面しつつあります。まず一つは膨大なエネルギー浪費CO2の排出です。無駄な屋外照明、過剰な人工の灯りによって浪費される光は世界で年間千億ドルの電気代に相当し、無

無駄な光によって 7.5 億トンの CO2 を排出していると言われております。無駄な光というのは例えば街灯。上に漏れている光というのは誰の何の役にもたっていないんです。こういった街灯は傘をかけて上空に漏れないように、しっかりと安全に歩行出来るように足下を照らしてあげるのが正しい照明だと思います。上方に光が漏れている街灯というのは、水が漏れている蛇口だと同じなんです。蛇口から水が漏れているのを見たら、それを閉めない人はいませんか。それと同じ事がこの街灯にも言えると思います。何の役にもたっていない無駄な光は抑えていかなければならないという風に思います。そして生態系への甚大な影響です。光害。都市部の灯りによって北米では年間、数億羽の渡り鳥が命を落としていると言われております。渡り鳥は夜間、月明りや星明かりを頼りに飛ぶ方向を知ります。それが高層ビルやサーチライト、都市部の上空に漏れた光によって渡り鳥が惑わされてしまいます。ビルの周りをグルグル回り始めてやがて力尽きて地面に落ちて死んでしまう。もしくは明るいビルに激突して命を落とすという光害によって実際に犠牲になっております。八重山地域も海ガメは沢山いますが、人口の光が海ガメの産卵を妨げ、ふ化した子ガメは海に帰れずに犠牲になるというケースもございます。子ガメは月明りを頼りに海へ向かって帰って行きます。街灯があるとそれと勘違いして道路に出て、車に引かれて命を落としてしまうという事もございます。珊瑚も死滅していろいろ問題になっていますが、一つの原因としてやはり光害、月の光を感知して産卵する珊瑚は人口の光によって産卵期がずれてしまって繁殖数が減っていると言われております。そして、農作物にも影響しております。夜間照明によって農作物の発育に影響し等級が低下したり、収穫量が減少したりという問題がございます。更に私達人間にも影響を及ぼしております。国際ガン研究所でも発表されました。週 2 日以上夜勤をする女性は一般女性よりも乳ガン発生リスクが 40% も高いという報告がございます。乳ガンというのは、近代病と言われており、夜、過剰な明かりを浴びるとホルモンバランスを崩したり、ガン抑制効果があるメラトニンが分泌されなくてガンリスクが高まっていると言われております。やはり私達の体は夜寝るように設計されているんですね。先ほど地球が誕生して 46 億年と言いました。私達人類が誕生して 400 万年です。夜、人口の光にさらされてまだ、たった 100 年です。明治終わり頃、大正から高度経済成長期を経て急激に光が増えてわずか 100 年。長い人類の歴史の中でも、私達現代人は夜の人口の光を浴びるという体験をしております。人間に限らず地球上全ての生命にも言えると思いますが、ずっと自然の暗い夜を過ごして来た私達の体、DNA にとっては非常に不自然な

急激な変化に直面していると思います。石垣島の 2013 年と 2017 年の光害マップですが、4 年で急激に光りが広がっております。光害の話を見せて頂く時によくご質問されるのが、防犯上、安全面ではやはり光は必要ではないのですか? そういうご意見を伺います。確かにそうです。必要な照明は一切消す必要はないのです。光害の問題というのは無駄な光、過剰な光を抑えていきましようという事なので、安全面にとって必要な光は残しておくべきだと考えています。ただ、防犯灯もあまりにも明る過ぎると逆効果なんです。過剰に明るい人間の目というのは明るい方に慣れてしまうので、暗い方が凄く見づらくなるんです。そうすると明るい所と暗い所の明暗の差が出てしまって暗い所に危険が潜んでしまうんです。明るい所があると暗い所で悪い事がしやすくなったりします。国際ダークスカイ協会が推奨している照明というのは、明るさを少し抑えて見通しがきく街灯設計が一番防犯上効果的だと言われております。纏めですが光害とは不適切な証明によって引き起こす悪影響の事を言います。必要な照明は一つも消す必要はございません。海外、欧米を中心に光害問題は深刻な問題として受け止められており、欧米の先進地域では光害対策は意外に進んでいます。ニューヨークでは光害条例が制定されました。あの大都市で光をちゃんと抑えていきましようという条例が出ております。そして、パリ郊外では光害対策はどんどん進んでおります。欧米ではすでに始まっております。そしてスカイツリーは光害防止と奨励設計をされた日本で最先端の光害対策施設となっております。墨田区の住宅街が広がっておりますがスカイツリーのライティングは全て周りの住宅に漏れないように設計されています。住民にとっては眩しくなく、この LED は昆虫が感知できない照明となっております。なので昆虫の目から見たらこのスカイツリーはライトアップしていない事となっております。生態系にも優しいライティング設計となっております。こういう取り組みがどんどん進んでいって光害のない街作りが未来の都市設計のスタンダードになって行くと私は確信しております。日本で初めて星空保護区になった石垣、竹富町が光害のない街作りのモデル都市となるよう取り組んで行ければと考えております。もともと、沖縄は伝統的な琉球建築、高い石垣と長い軒先で光を上を漏らさない様式です。こういった文化からも日本の中でも光害、星空保護区の取り組みは最先端を行くべき地域なのかなと考えております。日本初の「星空保護区」として、人の暮らしと星空、夜の生態系が共存する世界最先端のモデル都市を目指して行ければどんなに素敵かなと考えております。10/31(11/7)の星空欲ツアーもどうぞよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

日本初！ 星空保護区「ダークスカイ・パーク」西表石垣国立公園を暫定認定！



光害のない、美しい夜空
世界トップクラスの環境で見上げる星空



認定証

～ 例会風景 ～



バナーの贈呈



上野 貴弘 様
貴重なお話ありがとうございました。